

産業廃棄物処理計画書	
令和5年6月27日	
愛媛県知事 中村 時広 殿	
提出者	
住 所 松山市本町6丁目10番地の1-201	
氏 名 株式会社NIPPPO愛媛統括事業所分室	
分室長 幾島 洋寿	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0899243742	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社NIPPPO愛媛統括事業所分室
事業場の所在地	松山市本町6丁目10番地の1-201
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	完成工事高71,622万円
③ 従業員数	16名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類→処理業者へ委託→再生材として再資源化 木くず→処理業者へ委託→再資源化または最終処分場 廃プラスチック類→処理業者へ委託→再資源化または最終処分場 汚泥→処理業者へ委託→再資源化または最終処分場 紙くず→処理業者へ委託→再資源化または最終処分場 金属くず→処理業者へ委託→再資源化または最終処分場 混合→処理業者へ委託→再資源化または最終処分場 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず→処理業者へ委託→再資源化または最終処分場

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（ 2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度（ 2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（ 2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（ 2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

四国支店 支店長＝環境・品質保証委員会長－環境・品質保証委員会（廃棄物処理に関する検討）

環境・品質保証委員会－事務局（廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認）

愛媛統括事業所分室 所長＝環境・品質保証委員 環境担当者（廃棄物処理に関する点検、指導）

出張所 所長＝廃棄物管理 管理票・産廃契約担当者

工事現場 現場担当者＝廃棄物担当者（実務全般）

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2022年度)実績】								単位:t
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥	紙くず	金属くず	混合	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	7,593.50	20.05	14.84	5.15	2.13	17.85	12.00	0.06
	(これまでに実施した取組) ・分別の実施 ・再資源化および再生利用								
②計画	【目標】								単位:t
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥	紙くず	金属くず	混合	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	2,500.0	6.0	6.0	3.0	1.0	0.0	5.0	0.0
	(今後実施する予定の取組) ・分別の実施 ・再資源化および再生利用								

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・木くず、廃プラスチック類、汚泥、紙くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず:分別している。 ・アスコンガラ、コンクリートガラ:分別し全量再生利用
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記取り組みの継続

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度(2022年度)実績】							単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥	紙くず	金属くず	混合	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	(これまでに実施した取組) 実施なし。								
		【目標】							単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥	紙くず	金属くず	混合	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	(今後実施する予定の取組) 予定なし。								

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度(2022年度)実績】							単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥	紙くず	金属くず	混合	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
①現状	自ら熟回収を行った産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	(これまでに実施した取組) 実施なし。								
		【目標】							単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥	紙くず	金属くず	混合	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
②計画	自ら熟回収を行う産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	(今後実施する予定の取組) 予定なし。								



## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(2022年度)実績】								単位:t
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥	紙くず	金属くず	混合	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(これまで実施した取組) 実施なし。									
②計画	【目標】								単位:t
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥	紙くず	金属くず	混合	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(今後実施する予定の取組) 予定なし。									

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(2022年度)実績】								単位:t
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥	紙くず	金属くず	混合	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	全処理委託量	7,593.50	20.05	14.84	5.15	2.13	17.85	12.0	0.1
	優良認定処理業者への処理委託量	1,166.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	12.0	0.0
	再生利用業者への処理委託量	7,593.50	10.70	4.20	5.15	1.23	17.85	0.0	0.1
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	
(これまで実施した取組) 再生利用業者に委託し、環境負荷の少ない方法で適正に処理する。 処理委託契約を結ぶ時、業者の選定は上位部署に内容を報告し、確認をとり行う。									

【目標】		単位:t							
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥	紙くず	金属くず	混合	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
全処理委託量	2,500.0	6.0	6.0	3.0	1.0	0.0	5.0	0.0	
優良認定処理業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	
再生利用業者への処理委託量	2,500.0	3.0	2.0	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	
認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
②計画	(今後実施する予定の取組) 現状の取組のとおり今年度も実施予定。								
※事務処理欄									